

東北関東大震災に罹災された方に御見舞い申し上げます。

去る3月11日に発生した東北関東大震災では多くの方が罹災されています。お悲しみとご苦勞に心を痛めております。一日も早い復興をお祈り致します。

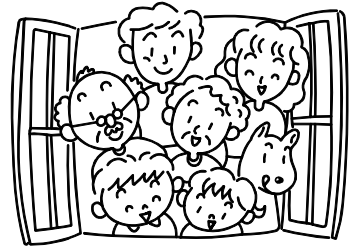
我々の地域では一部で被害がありましたが、幸い全体としては軽微でありました。地震により東日本地域の電力設備にも甚大な損傷があったことにより、計画停電が実施されており、コミセンも夜間閉館することになりました。我々にできることは限られていますが、節電と不要・不急な物を買わない事などに留意することで罹災地域に物資を優先させる事が出来ます。

又改めて、地域の皆様の緩やかな関係を築いて、災害に強い地域となることを願っています。

お待ちしております

第29回

住民総会



日時： 平成23年4月23日(土) 10:30~
 場所： 桜堤コミュニティセンター 2階会議室
 議題： 平成22年度事業活動報告・会計報告
 平成23年度事業計画案・予算案
 運営委員・役員の承認、その他

コミュニティセンターは、ボランティアで運営されています。地域の人々が集い、ふれあいと交流をはかる場です。多くの地域の人々のご意見を取り入れてより良いコミセンづくりを目指しています。

「住民総会」は年に一回開かれ、新年度の事業運営、予算案を審議して頂くために開催する大切な会議です。桜堤コミュニティセンターは今年度創立30周年を迎えます。住民総会では、より使い易く、楽しい、憩いの場所になるよう、運営や管理について話し合いますが、より多くのご意見もお伺いしたいと思います。

コミセン活動をご理解いただくためにも是非住民総会に、まずはご参加いただきますよう、お待ちしております。

22年度開催行事の思い出

管外研修

6月8日(火) 信州サクランボ狩り、一本木公園のバラと歴史の町小布施を訪ねるバス旅行を行いました。定員いっぱいの45名の参加で運営委員と地域の方の交流を深めました。



多くの子どもたちで賑わった

人形劇

7月19日(月・祝) 夏休み恒例となった、人形劇団「じろっぼ」による、人形劇を行いました。大広間いっぱい80名の親子の笑顔と歓声で楽しいひとときとなりました。



囲碁大会

9月20日(祝)・2月11日(祝) 恒例となった、囲碁大会を行いました。30名の参加で楽しいひとときとなりました。



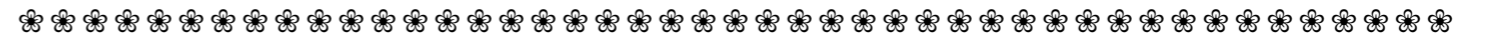
楽しかった夏まつり

8月27日(金) 夏休みの最後を飾る夏祭を行いました。今年は猛暑の中、準備なども大変でしたが、900名を超える参加者で模擬店、子供花火、盆踊りで運営委員と地域の方の交流を深めました。



盛り沢山の文化祭

11月13日(土)・11月14日(日)の『桜堤コミセン文化祭は、恒例となり楽しまれている、作品展示・模擬店(カレー・お饅頭・飲み物・パン・白鯛焼きなど)・バザー・芸能大会・落語会が地域の多くの方の参加のもと、盛大に開催することができました。また昨年が続いて、セピア色の思い出(思い出写真展)には、語り合いの場を設ける等、地域の方々もおおいに楽しんでいただきました。



お楽しみ餅つき大会

毎年暮れの恒例となった、お楽しみ餅つき大会は、12月5日(日)に、地域の子供さんから大人まで参加して、餅つき大会を行いました。70キロのお餅をつき、皆さんに楽しんで頂き、運営委員と地域の方の交流を深めました。



3コミセンネットワーク事業

「ジョージ・ジョンガラ コンサート」
2011年2月27日(日)

境南・西部・桜堤の3コミセンのネットワーク事業として、「ジョージ・ジョンガラ コンサート」を行いました。

整理券は発券と同時に配布終了となるコミセンもあり、当日定員180名の武蔵境スイングホールは満員の盛況で、ジョージ・ジョンガラさんの津軽三味線の熱演に3地域の皆様に楽しんで頂けました。



玉川上水ものがたり

卒業式が終わり、新一年生が入学を楽しみにしているこの時期はお花見のシーズンでもあります。子供達が入学するころ玉川上水の堤の桜が満開を迎え、散り始めた桜の花びらが玉川上水の水面をうすめつくしていたのは懐かしい思い出になっています。

去年11月ごろ読売新聞の地域欄で「小金井桜」を取り上げていました。それによると、

「今から約270年前の元文2年(1737年)。武蔵野の新田開発が一段落した頃、幕府の命を受け、玉川上水の兩岸に、奈良・吉野や茨城・桜川から取り寄せたヤマザクラを植えた――と起源が伝えられるのが『小金井桜』だ。約6キロにわたって咲き誇る桜並木は歌川広重の浮世絵に登場。明治、大正天皇が観桜、花見列車も運行された。大正13年(1924年)、国の名勝に指定され、東京中に名をとどろかせた。」とありました。

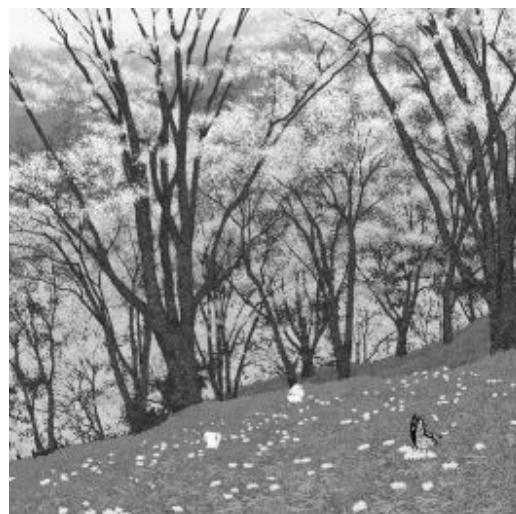
ところが現在、桜を覆う形でケヤキなどが生い茂り、私達のご近所の皆さんとお花見に行った堤(かつては土手の桜と呼んでいた)にはかつての面影は全くありません。1965年に玉川上水の通水が停止され、桜並木が衰えた。86年には下水の通水が始まったため、ケヤキや下草の成長が促され、桜の生育を妨げています。

昨年11月から都が、玉川上水の関野橋から小金井公園正門付近の間の150メートルの区域で、兩岸に生えるケヤキなど大木の伐採を始めました。今年植えるヤマザクラの苗木が育ちやすい環境を整え、「小金井桜」並木を復活させようという取り組みが始まりました。都水道局が、「史跡玉川上水整備活用計画」に基づき、新小金井橋から関野橋までの640mをモデル区間に指定、平成22年から24年度に整備する予定の一環であるという。

小金井公園のソメイヨシノはすべて同一の遺伝子を持ったクローンで染井吉野は、種では増えない品種で、「接ぎ木」で増やすしかない。

一方小金井桜の山桜は同一地域の個体群内でも個体変異が多く、開花時期、花つき、葉と花の開く時期、花の色の濃淡と新芽の色、樹の形など様々な変異があります。

その個体差のある山桜に彩られた通学路を個性豊かな新一年生達が通学するのはもうすぐです。



編集後記

「早かった、あつという間の1年でした。経験のない私が編集・情報収集・配布と色々な勉強と経験をしました。

今回の大地震の災害地で被害が多発しました。広報に携わって見て、情報の重要さを痛感しました。(T. W.)」

「地域のコンビニが閉店、いよいよ買物難民かと嘆いていたら、この東日本大震災!! 独り暮らしの私に近所の方より安否確認があり、嬉しく又ホットしました。今こそ地域の和(輪)を広げ正しい情報交換が必要かも。(T. K.)」

「涙には色々な想いが詰まっている。だが人間は本当に辛く苦しいと涙は流れない。テレビ画面一杯の避難所で生活されている人々の顔は複雑な想いの籠もった目をしている。頑張っ!! という言葉も虚しい・・・最近父を亡くしてから、そんな事を感じる様になった(R. K.)」

「コミセン活動の年間最後の3月11日に大震災。

死者・不明者が連日増えていくあまりの惨事の大きさにうろたえ、一方で買いために走る。でも日本は65年前を経験している。そのことを想いだして明日に希望を持ちたい。65年前に生まれた一人として強く願う。(A. S.)」

運営委員・協力員募集

桜堤コミセンは地域のボランティアで運営されています。皆さんの斬新な発想や日頃の活動を桜堤コミセンの向上にお役立てくださいませんか。

コミセンの運営に興味のある方は運営委員に、イベントの協力、広報誌の配布をしてくださる方は、協力員に。

皆さんの参加をお待ちしています。